

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 26 年 9 月 11 日 (木) (19:00~20:00)		
実施場所	太平集会所	参加人数	13 人
参加対象	まつだい地産地消の会		
懇談内容	<p>【1. 発言者】</p> <p>① 当会は学校給食への食材提供率 100%を目指して頑張っている。会員には高齢者が多い。若い世代にどう継承していくかが課題である。若い人達が取り組めるような支援をしていただきたい。</p> <p>② 定住に向けての支援をお願いしたい。</p> <p>【市 長】</p> <p>① 皆さんの頑張りと若い人のサポートがあって、非常にいい体制だと思われる。市としても出来るだけの支援をしていきたい。</p> <p>市内の給食は毎日 4 千数百食作られており、ビジネスのチャンスはある。皆さんから買い取る野菜の値段を高く設定するなど、収益アップにつなげたい。また新鮮な野菜を如何にして届けるかを市も検討したい。</p> <p>② 市では、十日町市を選んで住んでくれる方に対し、各種要件に該当すれば最大 200 万円まで支援をする制度を設けた。</p> <p>【2. 発言者】</p> <p>給食センターに食材を保存するための冷蔵設備がほしい。配送業務を担当している事務局にもゆとりが生まれる。</p> <p>【市 長】</p> <p>一番の検討材料である。玉ねぎのような日持ちする作物は生産しているか。品種改良等、研究して冬期でもストックでき、出荷できることが理想である。</p> <p>【3. 発言者】</p> <p>① ジャガイモの貯蔵を検討中である。旧奴奈川小の下などで試行錯誤しているが、ちょっとした支援があれば雪室や山の法面など保存する場所を画策できるのではないか。</p> <p>② 冬の農業について、大根を千切りして乾燥させ出荷するなど、出荷先があれば冬の収入につながるのではないか。</p> <p>【市 長】</p> <p>①② 何かひと手間かけても給食に納められるようになるとよい。市では、冬期アグリビジネスの面からも農業者を応援している。</p> <p>【4. 発言者】</p> <p>芝峠温泉「雲海」の下にガスが出るところがある。地下のガス熱を有</p>		

効利用してハウス栽培などできるかもしれない。

【市 長】

ガスでハウス栽培をするのはいい発想である。冬の農業と一緒に考えていただければありがたい。川西の千手では温泉を利用したイチゴを栽培している。